

1/28(火) の発表



報道発表資料の配付日時

1/28(火) 15時00分

発表項目 (行事名)	(速報) 感染性胃腸炎患者等の発生について (週報) 腸管出血性大腸菌感染症患者の発生について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施場所) 月 日 () 時 分～	発表者	
		発表場所	
概要	<p>○詳細については別紙のとおり</p> <p>◆速報 (感染性胃腸炎 (5類感染症) の集団発生について速報するもの)</p> <p>富良野保健所 幼稚園 22名 ロタウイルス ……別紙1</p> <p>◆週報 (腸管出血性大腸菌感染症 (3類感染症) 患者の発生について)</p> <p>千歳保健所 ……別紙2</p>		
参考			

報道(取材) に当たっての お願い	<p>本公表は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第16条の規定に基づき、個人情報の保護に留意の上、感染症の発生状況等に関して必要な情報を公表するものです。 つきましては、報道に当たって、個人のプライバシー等の保護のため特段のご配慮をお願いします。</p>		
他のクラブ との関係	同時配布	(場所)	
	同時レク	富良野保健所、千歳保健所	

担当 (連絡先)	<p>保健福祉部健康安全局地域保健課感染症・特定疾患グループ (担当:角)</p> <p>電話 (代表) 011-231-4111 (内線25-506)</p> <p>(ダイヤルイン) 011-204-5253</p>		
-------------	---	--	--

感染性胃腸炎患者等の発生について

令和2年(2020年)1月28日(火)15:00
 北海道保健福祉部健康安全局地域保健課
 TEL: 011-231-4111 (内線: 25-506)
 FAX: 011-232-2013

令和2年(2020年)1月27日(月)、富良野保健所管内の幼稚園において、感染性胃腸炎患者及びその疑いのある者の発生を確認しました。

記

1 探知

令和2年(2020年)1月24日(金)に、富良野保健所管内の幼稚園から、複数の園児がおう吐、下痢等の症状を呈している旨、同保健所に通報があった。

2 発生の概要

富良野保健所管内の幼稚園の園児22名が、1月21日(火)から1月24日(金)にかけて、おう吐、下痢等の症状を呈し、22名全員が医療機関を受診、うち3名が入院した。

3 現在の症状

1月28日(火)現在、入院中の1名を含め症状は回復もしくは快方に向かっている。入院していた2名は回復し既に退院した。

4 経過

1月21日(火)～1月24日(金)

おう吐、下痢等の有症者発生

1月21日(火)～1月24日(金)

医療機関において有症者のうち20名の便を検査した結果、18名からロタウイルスが検出された。

1月24日(金)

幼稚園から保健所に通報

5 感染経路

現在調査中

6 対応

富良野保健所では、当該幼稚園に対し、園児及び職員の健康状況の把握、手洗いの励行及び施設内の消毒、清潔保持等、感染防止対策について指導を行った。

7 その他

この件については、本日15時00分、富良野保健所においても、資料配付を行っています。報道に当たっては、個人のプライバシー等の保護のため特段のご配慮をお願いします。

ロタウイルス感染性胃腸炎とは

ロタウイルスは乳幼児下痢症の原因ウイルスとして広く一般に知られています。ロタウイルスの人への感染は、人と人との間で起こる経口感染です。汚染された水や食物などを触った手からウイルスが口に入って感染が成立する可能性もあります。感染のピークは春先に認められますが、一年を通して発生がみられます。

主症状：吐き気、おう吐、腹痛、下痢、発熱(軽度)、腹部不快感

潜伏期間：通常48時間

経過・予後：通常1～2週間以内で回復、予後は良好

腸管出血性大腸菌感染症の発生について（週報）

令和2年（2020年）1月28日（火）15:00

北海道保健福祉部健康安全局地域保健課

TEL 011-231-4111(内線:25-506)

FAX 011-232-2013

令和2年（2020年）第4週（1月20日（月）～1月26日（日））に、道立保健所管内で腸管出血性大腸菌（ベロ毒素産生性）感染症患者を確認しましたのでお知らせします。

記

1 発生の概要

保健所	区分	性別等	発症日及び 主な症状	受診日	保健所 受理日	現在の状況	備考
千歳	患者 (O111)	男性 (30歳代)	1月13日（月） 下痢、発熱、 腹痛、血便	1月14日 （火）	1月20日 （月）	症状は快方に向かっている。（入院はしていない。）	—

2 対応

- ・家族等の健康調査及び便検査
- ・患者及び家族等の喫食調査
- ・家庭等における手洗いの励行及び消毒等の清潔保持の指導

3 その他

この件については、本日15時00分、管轄保健所においても資料配付を行っています。
 <報道に当たっては、個人のプライバシー保護のため、特段の御配慮をお願いします。>

腸管出血性大腸菌感染症とは

概要：ベロ毒素を産生する大腸菌によって引き起こされる感染症であり、下痢、激しい腹痛、血便、発熱等が主な症状である。

また、病原体を保有していても症状がない場合もある。（無症状病原体保有者）

感染経路：汚染された食品や、感染者の便が口に入ることによって感染する。（経口感染）

分類：感染症法では三類感染症に定められている。

潜伏期間：3～5日が多いが、1週間以上の場合もある。

予防策等：手洗いの徹底による二次感染の防止、食品の十分な加熱等。

【参考】腸管出血性大腸菌感染症の道内における発生状況（2020年）

1月26日（日）時点

区分/O抗原型	8	18	25	26	74	91	103	111	115	121	128	145	146	148	157	165	不明	合計
患者								1							2			3
無症状病原体保有者															1		1	2
計								1							3		1	5

(単位：人)

※ 札幌市、旭川市、函館市、小樽市分を含む

※ 全道の状況については、北海道感染症情報センターホームページにて公開しています。

(<http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html>)